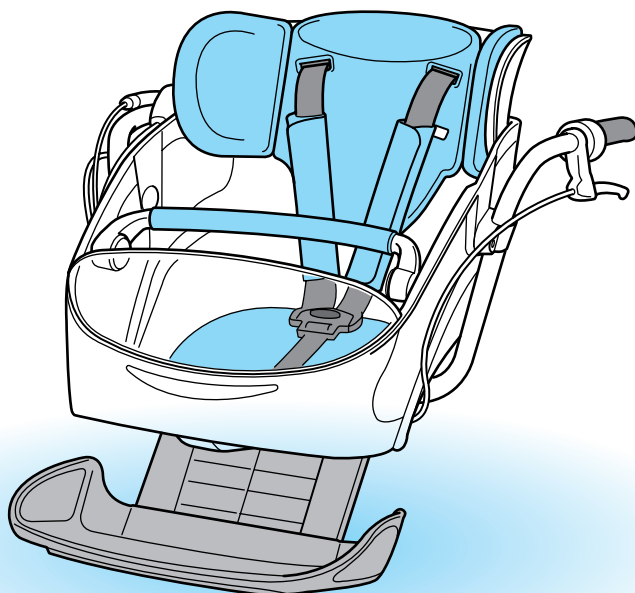


自転車を安全で快適にご使用いただくために！

アンジェリーノ取扱説明書

このたびは当社の製品をお買い上げいただきまして、
ありがとうございます。

お客様の安全のために、ご使用になる前に必ずこの説明書をお読みください。
読まれたあとは大切に保管し、必要に応じてご活用ください。



— 目 次 —

- 警告表示について 1
(ご使用できるお子様の目安)
- 各部の名称 2
- チャイルドシートの操作方法 2
- テモトデロックの操作方法 8
- 安全な使い方 12
- WEB限定「Angelino プレミアムWEB会員登録」のオススメ 20

警告表示

警告表示は危険度・重要度の程度に応じて次の区分で表示しています。これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、自転車がこわれるなどのおそれがあります。

表示の意味



警告

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、取り扱いを誤った場合、使用者が「傷害を負ったり、物的損害を負う可能性が想定される」内容です。



禁止

この表示の欄は、「安全上してはいけない危険行為および保証範囲外の行為を表す」内容です。



強制

この表示の欄は、「使用者に必ず実行していただく」内容です。

警告

1. はじめに

- 自転車にチャイルドシートを取り付けて、お子様を同乗させることにより、自転車のハンドル操作や走行安定性を損ない、制動操作時に制動距離が長くなりますので、注意してください。

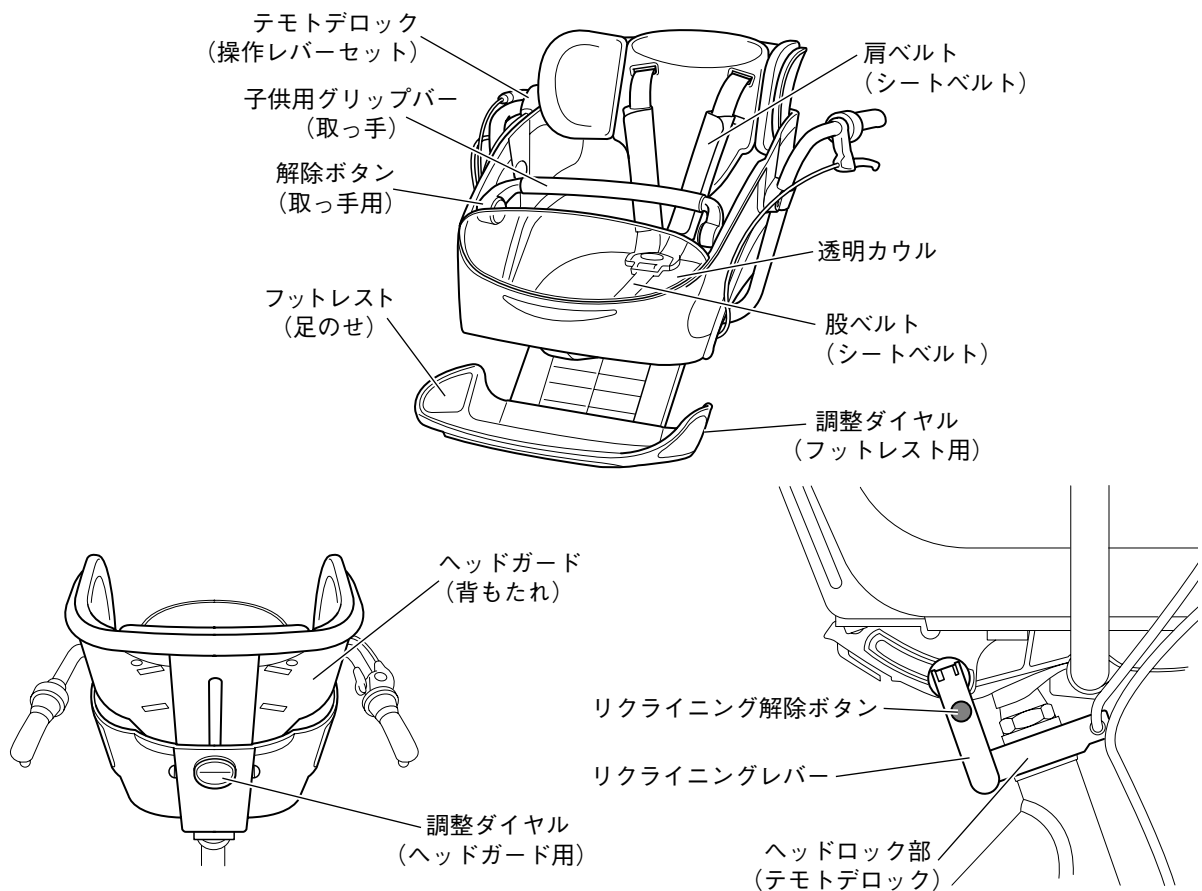
2. ご使用できるお子様の目安

- 使用年齢範囲は1歳から4歳未満まで。
- 体重15Kgまで、身長100cmまで。
- 上記の範囲内であっても、乗せるお子様の体格が大きくなるほど運転しづらくなります。
- お子様を乗せても、安全に運転ができることをご確認の上、ご使用ください。

3. ご注意

- チャイルドシートは必ず、お買い上げいただいた販売店で取り付けていただくよう、お願いします。取り付けが不完全であると、使用中に外れたり、こわれるおそれがあります。
- 自転車のハンドルを上下する必要があるときは、必ず販売店に相談してください。
- この自転車（幼児2人同乗用自転車）に、リヤチャイルドシートを取り付ける際には、弊社指定のチャイルドシート（別紙説明書をご参照ください）とし、取り付けるチャイルドシートの表示や取扱説明書をご確認の上、ご使用ください。詳しくは販売店にご相談ください。
- このチャイルドシートはアンジェリーノ専用です。他の自転車には取り付けができません。
- 前輪錠を取り付けた場合など、使用上、お子様の手足が届く範囲に自転車用錠があると、錠が作動して危険があるので、その位置などに十分に注意してください。

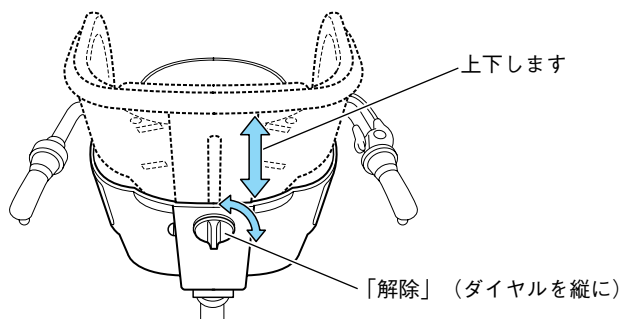
各部の名前



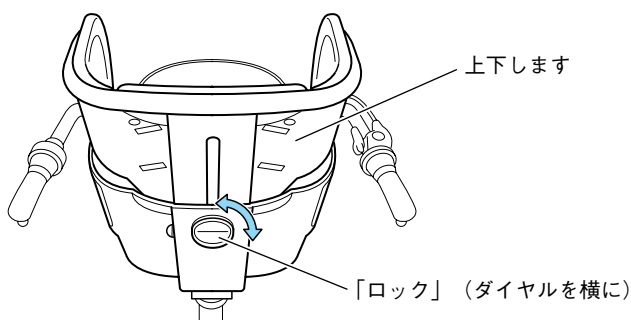
チャイルドシートの操作方法

■ヘッドガード(背もたれ)の使い方

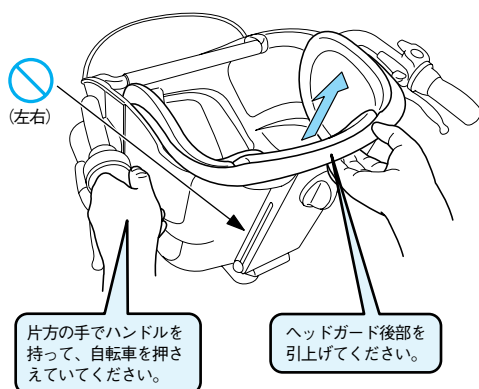
- ヘッドガードはお子様の体格に合わせて高さを調整してください(可動範囲は約19cm)。
- 調整ダイヤルを『解除』の位置にするとヘッドガードを上下することができます。



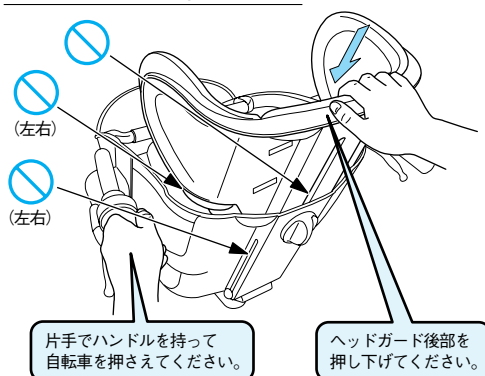
- 調整ダイヤルを『ロック』の位置にするとヘッドガードを固定することができます。



ヘッドガードを上げるとき



ヘッドガードを下げるとき

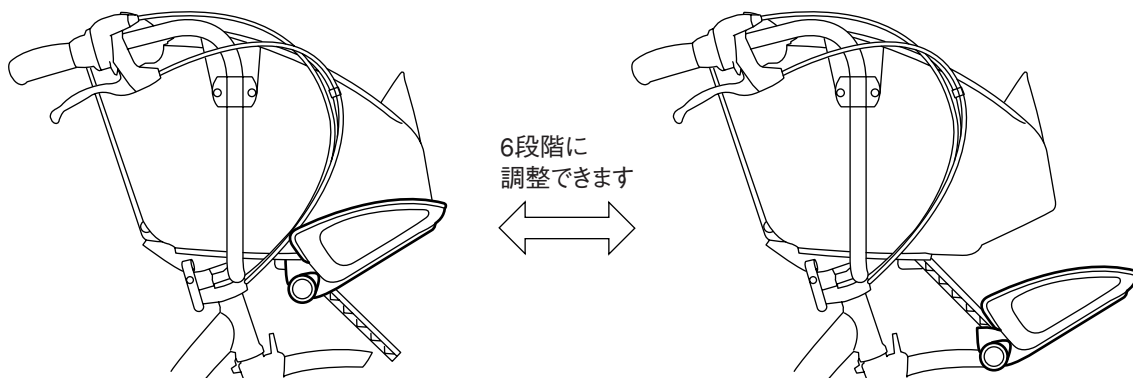


⚠ 警告

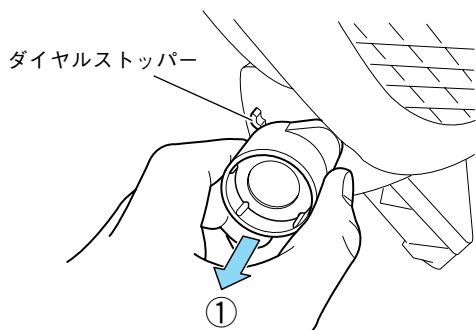
- ⊘→で指した隙間に指をはさまないようにご注意ください。
- お子様を乗せている時は、お子様の手などを隙間にはさまないようにご注意ください。

■フットレスト(足のせ)の使い方

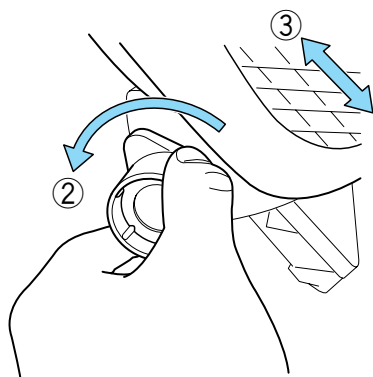
- フットレスト(足のせ)はお子様の体格に合わせて高さを6段階に調整することができます。



- フットレスト後側のダイヤルでロック解除、スライド、位置合わせ、ロックをします。



①左右のダイヤルを外側へ引き出します。

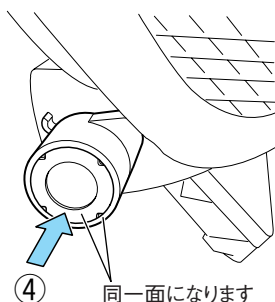


②ダイヤルを引き出したまま、ダイヤルストッパーにあたるまで後方へひねります。

③上記②の状態のままで、フットレストを上下にスライドします。

⚠ 注意

- 左右のダイヤルを同時に操作してください。

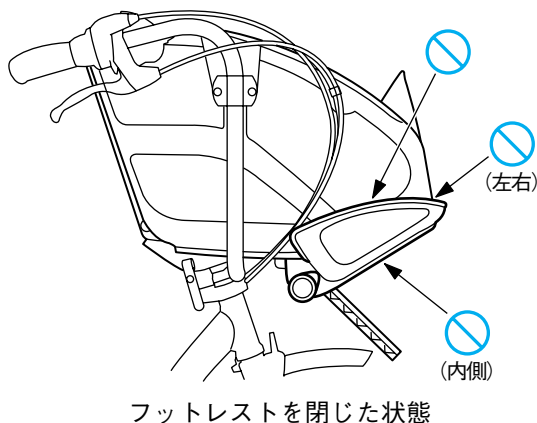


④高さ調整をしたらダイヤルを元に戻します。

⚠ 注意

- 高さ調整後は、ダイヤルが奥まで差し込まれていることを確認してください。

- バasketとして使用するときにはフットレストを閉じてください。



⚠ 警告

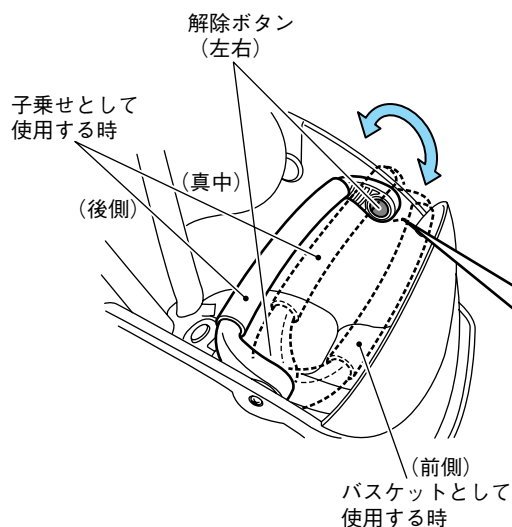
- フットレストを閉じるとき、⊘→で指した隙間に手や足をはさまないようにご注意ください。
- お子様を乗せているときは、お子様の手や足を隙間に挟まないようにご注意ください。

⚠ 注意

- フットレストを閉じるとき、ワイヤ類を挟まないように注意してください。

■子供用グリップバー(取っ手)の使い方

- お子様に乗っているときは子供用グリップバーを後側または真中にしてください。
- お子様を乗せるときや、バスケットとして使用するときには子供グリップバーを前側にしてください。



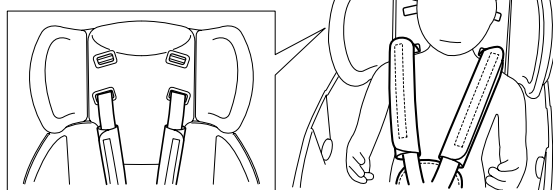
⚠ 警告

- お子様用のグリップバー(取っ手)は、お子様に合わせて調整し、確実に固定してください。
- グリップバー(取っ手)を持って、自転車を持ち上げないでください。こわれて自転車を落とすおそれがあります。

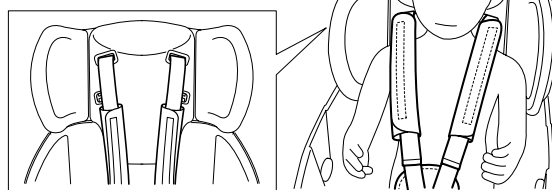
■シートベルトの使い方

- シートベルトはお子様の体格や服装に合わせて長さを調整してください。
- 調整後は確実にシートベルトを固定してください。
- お子様の体格によりシートベルトの固定位置が2段階に設定できます。

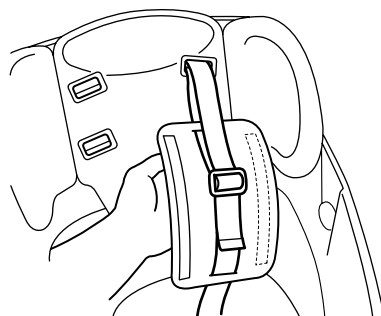
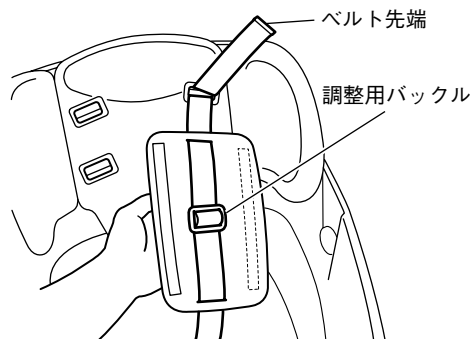
小さいお子様の使用例



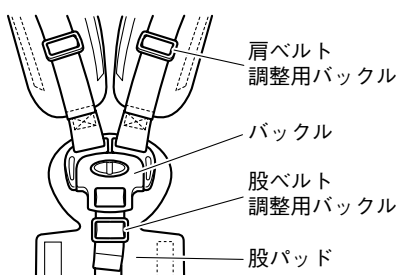
大きいお子様の使用例



- ベルト先端を調整バックルから外して、バックサポートのシートベルト穴へ通します。



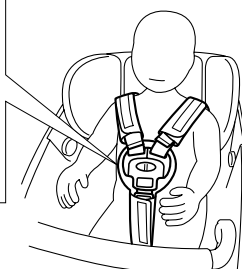
- 調整用バックルでシートベルトの長さを調整します。
(調整用バックルは肩ベルト左右、股ベルトの3箇所にあります。)



バックルがおなかの辺りになるように股ベルトの長さを調整した後、肩ベルトの長さを調整してください。

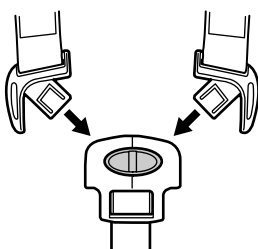
※股ベルトの長さを調整する際には、バックルがお子様の首に当たらないよう注意してください。

調整が終わりましたら、肩ベルトと股ベルトの各々のパットのマジックテープを留めてください。



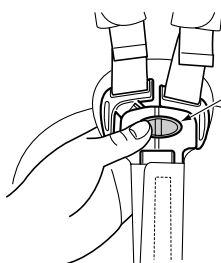
- バックルは左右の肩ベルトを別々に固定し、取り外すことができます。

固定する時



左図のように、肩ベルトの左側はバックルの左側へ、肩ベルトの右側はバックルの右側へ、それぞれカチッと音が出るまで挿し込んでください。

外す時

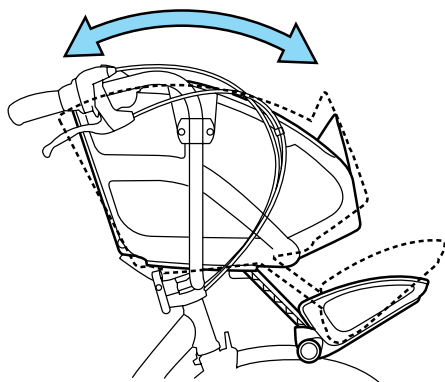


バックル解除ボタンは左右別々に作動します。

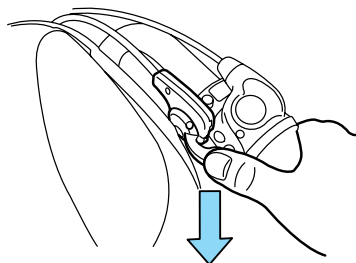
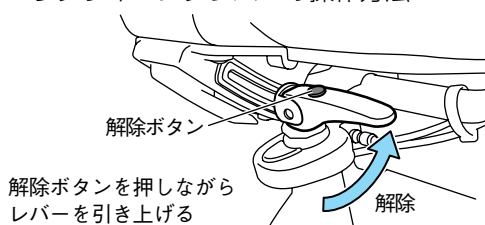
右のバックルを外す時はボタンの右半分を押してください。

リクライニングの使い方

- お子様の状態に合わせてチャイルドシートをリクライニングさせてください。
- チャイルドシート下のリクライニングレバーを引き上げるとリクライニングをすることができます。
- リクライニング操作をするときは、平坦な場所でスタンドをたてて、テモトデロックをロック(半固定)させた状態で行ってください。
- リクライニング操作後は、リクライニングレバーを確実に奥まで押し下げて固定してください。

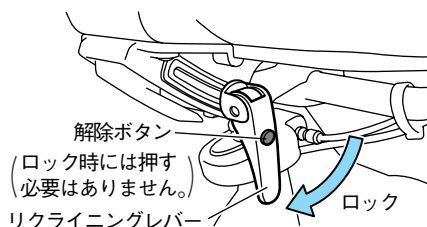


- リクライニングレバーの操作方法



注意

- リクライニング操作をするときは必ずテモトデロックをロック(半固定)してください。ロック(半固定)しないと操作中にハンドルが回ることがあります。

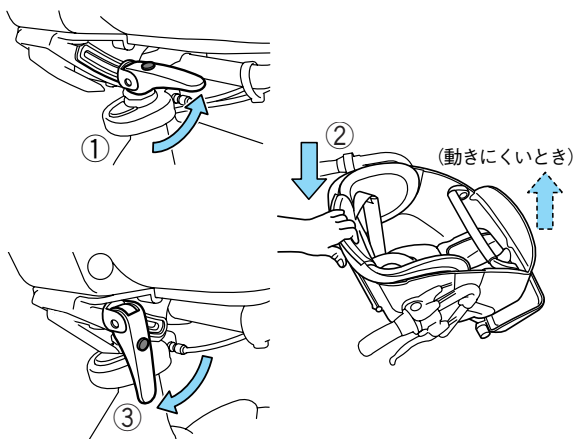


●リクライニングのしかた

①リクライニングレバー解除ボタンを押しながらレバーを引き上げます。

②ヘッドガードの上部を下向きに押します。(動きにくいときは、前側を引き上げてください)
つきあたる位置までシートを傾けてください。

③リクライニングレバーを奥まで確実に押し下げて固定してください。



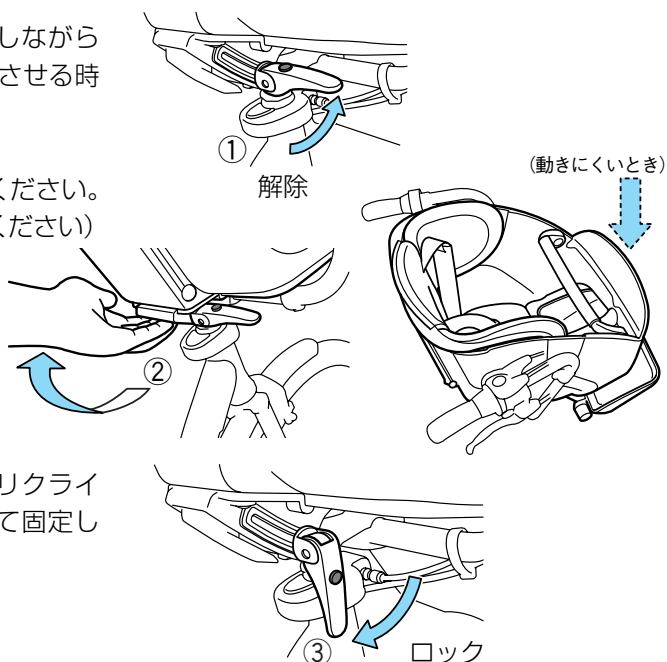
●リクライニングの起こしかた

①リクライニングレバー解除ボタンを押しながらレバーを引き上げます(リクライニングさせる時と同じです)。

②チャイルドシートの下部を引き上げてください。
(動きにくいときは、前側を押し下げてください)

つきあたる位置までシートを起こしてください。

③つきあたるまでシートを起こしたら、リクライニングレバーを奥まで確実に押し下げて固定してください。

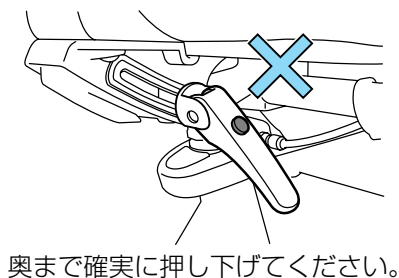


⚠ 注意

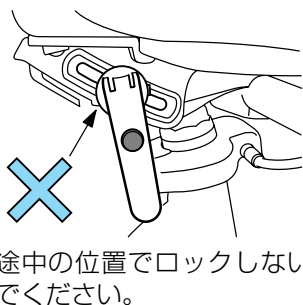
- リクライニング操作後は、リクライニングレバーを奥まで確実に押し下げてください。
- リクライニングの固定位置は起こした位置と倒した位置のみです。
- 途中の位置でロックしないでください。(破損の原因となります)
- お子様を乗せたままリクライニング操作をすると操作が重くなりますので、ご注意ください。

⚠ 警告

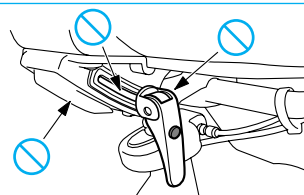
○→で指した隙間に指をはさまないようにご注意ください。



奥まで確実に押し下げてください。



途中の位置でロックしないでください。

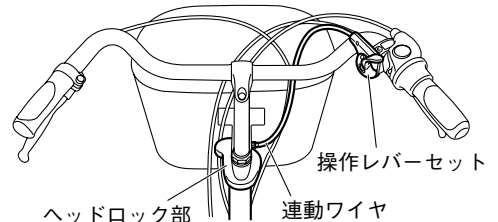


テモトデロックの操作方法

「テモトデロック」は、駐輪時に自転車を安定させるために行なう「ハンドル(ヘッド)の回転をロック(半固定)／解除する操作」を、ハンドル右側のレバー操作で行なえるパーキングストップです。

■構造・機能

- 「テモトデロック」はハンドル右側の「操作レバーセット」と、ハンドル下の「ヘッドロック部」の2つの部分が「連動ワイヤ」で連動しています。
- 「操作レバーセット」の操作で、「ヘッドロック部」が作動して、ハンドル(及びマエホーク、前輪)が左右に回るのを止める(半固定)ことができます。
- 但し「テモトデロック」をかけても、ハンドルに大きな力が加わると、音が出てハンドルが回ります。

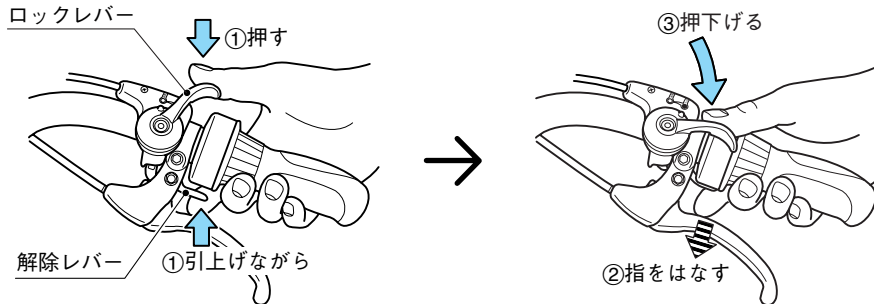


■操作方法 (ハンドル右側の操作レバーセットを操作します)

(1) 駐輪する時(ハンドルを回らなくする時)

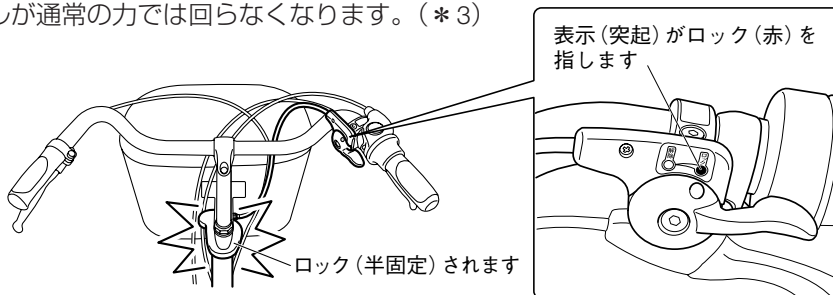
〈操作のしかた〉

- ① 解除レバーを人差し指で引上げながら、ロックレバーを押し下げます。(※1)
- ② ロックレバーが動き出したら、解除レバーから指をはなします。
- ③ カチッと止まるまでロックレバーを押し下げます。(※2)



〈操作すると〉

ハンドルが通常の力では回らなくなります。(※3)

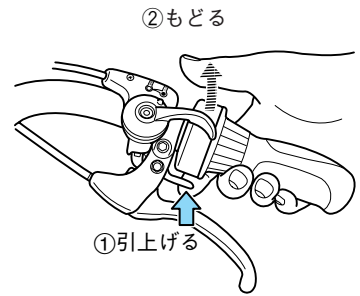


- ※1 誤動作防止のため、初めに解除レバーを引上げないと、ロックレバーが下へ動かせない安全機構になっています。
- ※2 レバー操作が重い場合は、ハンドルを少し回転させながら操作してください。
- ※3 ハンドルを無理に回すと、音が出てハンドルは回りますが、この状態での走行は危険です。

(2) 乗車する時(ハンドルが回るようにする時)

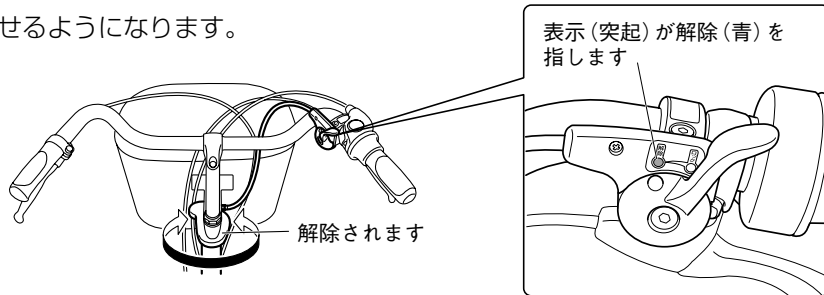
〈操作のしかた〉

- ①解除レバーを人差し指で引き上げます。
- ②ロックレバーが上へもどります



〈操作すると〉

ハンドルが回せるようになります。



警告

- 走行する時は、必ずテモトデロックを解除してください。
ロック(半固定)したままだと、通常の力ではハンドル操作できません。事故につながる危険があります。

■使用上のご注意

警告

乗車前の確認

- 乗車の前は、必ず次の項目を確認してください。
 - ・ ロックレバーが上がっていること。
 - ・ ハンドルが滑らかに回転すること。
 - ・ 解除レバーを操作しないと、ロックレバーを下まで押せないこと。(安全機構の動作確認のため。P8, ■操作方法, 〈操作のしかた〉)
 - ・ 連動ワイヤに異物が引っ掛かったり、バスケットまたはブレーキワイヤとのクリップから外れていないこと。
 - ・ 不適切な取り扱いや調整は人身事故につながる危険があります。不明な点は、販売店にご相談ください。

駐輪時の注意

- テモトデロックはハンドルの回転を完全に固定するものではありません。テモトデロックをかけても、積載する荷物が重かったり、駐輪場所が不安定な場合には、ハンドルが回って、自転車が動いたり、倒れたりするおそれがありますのでご注意ください。
特にお子様を自転車に乗せたまま、自転車から離れないでください。自転車が倒れてお子様が地面にぶつかり、けがをする危険があります。
- 地面が平らで安定した場所に駐輪してください。地面が傾いていると、自転車が倒れるおそれがあります。
特にお子様を乗せ降ろしする場合はご注意ください。
- 安定した駐輪のため、ハンドルは前方(直進方向)に向けて駐輪してください。

⊘ 禁止

走行時の注意

- 走行中のロック操作は絶対にしない。
また、お子様を同乗させた時は、お子様がレバーを押したりしないように注意してください。走行中にハンドルの操作ができなくなったり、駐輪中にロック（半固定）したハンドルの回転が解除して、転倒や事故につながる危険があります。
- ロックレバーに買い物袋などをひっかけない。
荷物の重みでロックレバー内部が破損したり、更に走行中ヘッドがロック（半固定）するおそれがあります。



レバーをさわらせない

❗ 強制

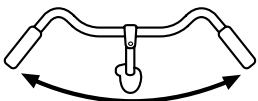
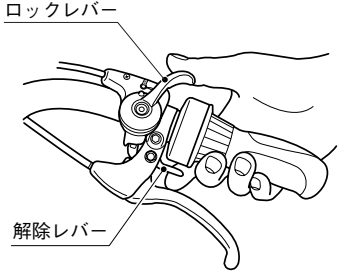
- 次のような場合は、乗車せずに、すぐに販売店にご相談ください。
 - ・ 操作レバーセット、ヘッドロック部、連動ワイヤのいずれかが破損している場合。
 - ・ 連動ワイヤが、操作レバーセット、ヘッドロック部から外れている場合。
 - ・ ロック（半固定）時のハンドル固定力が初期より低下した場合。
（ロックしてもハンドルが簡単に回ってしまう場合）
 - 【操作レバーセット／解除時】
 - ・ ハンドル操作に異常を感じた場合。ハンドルがロック（半固定）されている場合。
 - ・ ロックレバーが上に戻らない場合。
 - ・ 操作レバーセットのインジケータ表示が解除（青）にならない場合。
 - 【操作レバーセット／ロック時】
 - ・ ハンドルがロック（半固定）されない場合。
 - ・ ロックレバーが下側で固定されない場合。
 - ・ 操作レバーセットのインジケータ表示がロック（赤）にならない場合。

■修理を依頼するまでに

「故障かな?」と思われる時は、販売店に修理を依頼する前に以下のチェックを行なってください。

⚠ 警告

解除しても、ハンドル操作に音や引っかかりなどの異常があつて直らない場合には、乗車せずに販売店にご相談ください。走行中ハンドル操作ができなくなり、転倒や事故につながるおそれがあります。

	異常な状態	原因	対応
操作レバーセット解除時	ハンドル操作の異常 (音がする、引っかかるなど)	連動ワイヤに異物が引っかかり、連動ワイヤが曲がっている。	異物を取り除いて、連動ワイヤの曲がりをとってから、再度ハンドルの操作を確認してください。
		解除レバーが引上げ切れていない。 (ロックレバーが上側でない)	再度解除レバーを引き上げて、ロックレバーが上側に戻ることを確認後、ハンドル操作を確認してください。
		内部・連動機構の異常	乗車せずに販売店にご相談ください。
	解除レバーを押しても、ロックレバーが上側へもどらない (表示がロック(赤)表示のまま)	内部・連動機構の異常 レバーが別部品に接触して動かない。	販売店にご相談ください。
操作レバーセットロック時	ハンドルがロック(半固定)されない。 (表示：ロック(赤) ロックレバー：下側固定)	ハンドルがロック(半固定)位置より回転方向にずれているため、ロック(半固定)できない	ハンドルを少し回転させて、ロック(半固定)されるかを確認してください。
		内部・連動機構の異常	販売店にご相談ください。
	ロックレバーが下らない。 下側に固定されない。 (表示：解除(青) ロックレバー：上側)	解除レバーを「引上げながら」の操作をしていないため。 (安全機構を解除する)	解除レバーを引上げながら、ロックレバーを操作して、ロック(半固定)ができるかを確認してください。
		ロックレバー操作終了後も、解除レバーを引き上げ操作しているため。	以下のいずれかの操作方法をして、ロック(半固定)ができるかを確認してください。 A：解除レバーを引上げ、ロックレバーが動き出したら、解除レバーの引き上げ操作をやめて、ロックレバー操作を行う。 B：解除レバーを引き上げ、ロックレバーが下側に突き当たったら、解除レバー操作止め、その後、ロックレバーから指を放す。
			
		内部・連動機構の異常 レバーが別部品に接触して動かない。	販売店にご相談ください。
	ハンドル固定力の低下	内部・連動機構の異常	販売店にご相談ください。

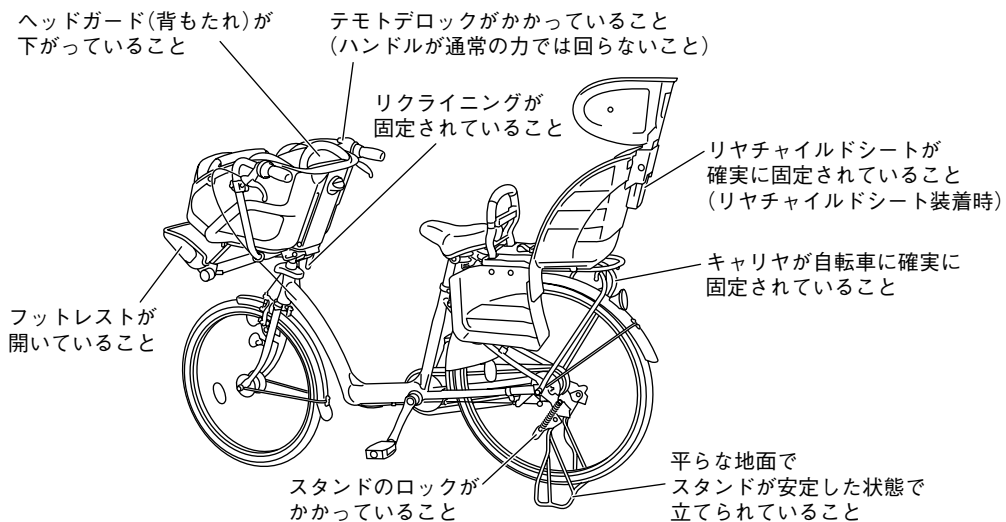
安全な使い方

〈ご使用上の注意〉

■お子様をチャイルドシートに乗せる前に確認してください

⚠ 警告

- チャイルドシートご使用時には、チャイルドシート後部（標準装備のフロントチャイルドシートの場合）に表示してある警告文を良くお読みください。
- 使用するときは、チャイルドシートおよびキャリヤの取り付けが確実であることを確認してください。また、破損、変形等したままでは使用しないでください。
- 夏の炎天下では、直射日光が当たるシートクッションの温度は高温となります。自転車を炎天下に放置した場合は、お子様をチャイルドシートに乗せる際、やけどに十分注意してください。
- 安全のため、乗車させるお子様には必ず自転車用の幼児用ヘルメットを着用させてください。ヘルメットを着用させないでチャイルドシートにお子様を乗せると、事故時に致命的な傷害を受ける確率が高くなります。また、運転者もヘルメットを着用されることをお勧めします。
- お子様には必ず靴を履かせてください。
- お子様は荷物等よりも後に乗せ、最初に降ろしてください。
- お子様を乗せるときは、お子様が正しい姿勢であることを確認してください。特に足の位置に留意してください。
- 使用にあたっては、交通法規を守ってください。
- スタンドが安定した状態で立って、ロックされているか確認してください。
- フットレストが開いているか確認してください。
- テモトデロックが掛かっているか確認してください。
- ヘッドガード（背もたれ）が下がっているか確認してください。
- リクライニングが固定されているか確認してください。
- リヤチャイルドシートを取り付けた時は、リヤチャイルドシートおよびキャリヤが確実に固定されていることを確認してください。
- 自転車に同乗できるお子様は1人です（フロントチャイルドシートのみ装着時）。チャイルドシートに乗車させるお子様の年齢、体重および身長範囲を守ってください。但しこの自転車（幼児2人同乗用自転車）に、リヤチャイルドシートを取り付ける際には、弊社指定のチャイルドシート（別紙説明書をご参照ください）とし、取り付けるチャイルドシートの表示や取扱説明書をご確認の上、ご使用ください。



■お子様をチャイルドシートに乗せるときは

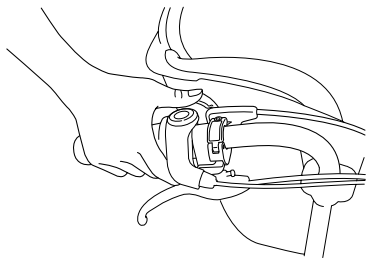
安全対策をした幼児2人同乗基準適合車でも、お子様の安全な乗せ方、降ろし方を行わないと思わぬケガをする恐れがあります。

お子様2人を同乗させる場合は、次の手順で行ってください。【ブリヂストンサイクル推奨例】

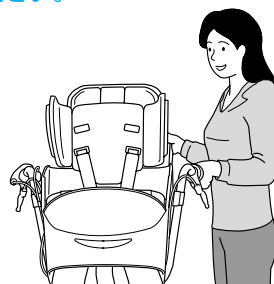
お子様1人を標準装備のフロントチャイルドシートへ乗せる場合は、下記⑤～⑥を省略してお読みください。

⚠ 警告

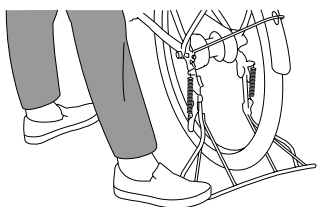
- ①お子様に乗せる前に、「テモトデロック」を操作し、ハンドルが回転しないように必ず※¹ ロック（半固定）してください。



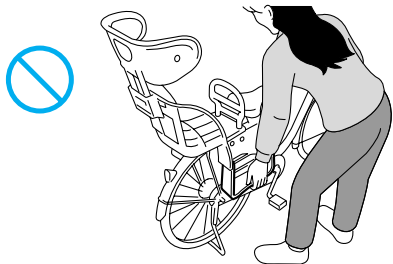
- ④保護者は自転車が倒れそうになった場合でも、すぐに手で支えられる位置に立っているようにしてください。



- ②自転車が転倒しないように、※² 安定性のよい平らな場所を選び、スタンドがしっかり立っていること、スタンドのロックがかかっていることを確認してください。



※³ 自転車を持ち上げる必要があるときは、リヤチャイルドシート（後幼児座席）のフットレストやグリップをもって持ち上げないでください。



- ③2人のお子様ヘルメットを着用します。

- ⑤まず初めに年長のお子様から先に、必ずしっかりと抱いて※⁴ リヤチャイルドシート（後幼児座席）に乗せます。



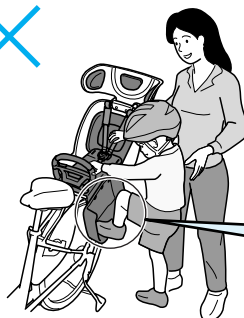
自転車を炎天下に放置した場合は、お子様をチャイルドシートに乗せる際、やけどに十分注意してください。



足乗せ

ドレスガード

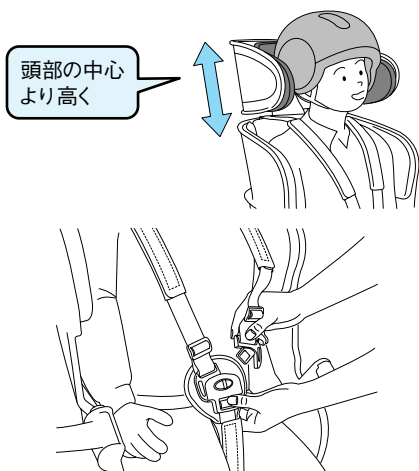
お子様を抱いて
乗せ降ろしして
ください。



足乗せ部分に
強い力を
加えないで
ください。

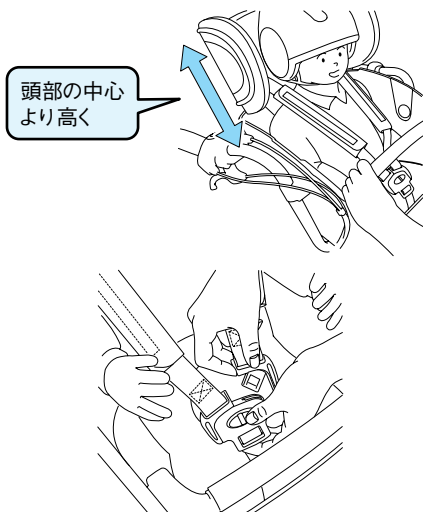
警告

- ⑥ お子様の後頭部をカバーするようにヘッドガードを調整し、シートベルトを確実に装着します。



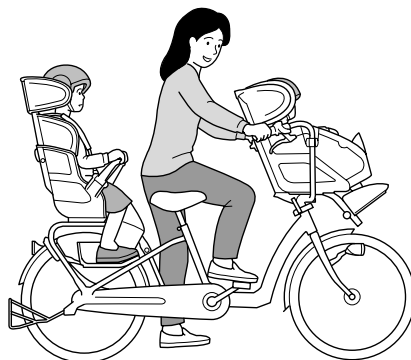
- ⑦ 次に年少のお子様をしっかりと抱いてフロントチャイルドシート（前幼児座席）に乗せます。

- ⑧ リヤチャイルドシートと同様にヘッドガードを調整し、シートベルトを確実に装着します。

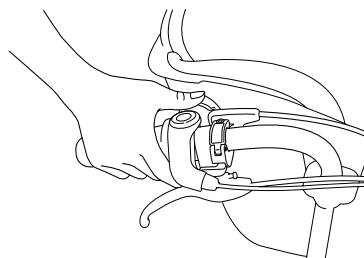


- ⑨ スタンドを上げてから、保護者が自転車に乗ります。

※³ 自転車を持ち上げる必要があるときは、リヤチャイルドシート（後幼児座席）のフットレストやグリップをもって持ち上げないでください。



- ⑩ ※⁵ ハンドルグリップをしっかり握ってから、「テモトデロック」を操作し、最後にロックを解除します。

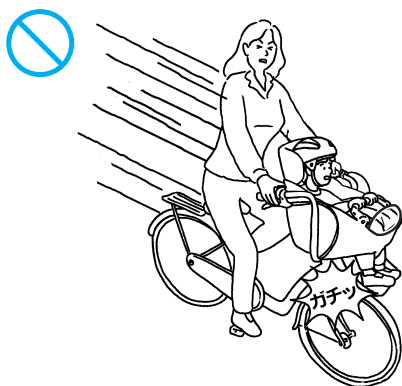


- ※¹ 「テモトデロック」はハンドルの回転を完全に固定するものではありません。
- ※² 傾いた場所で「テモトデロック」を解除した場合、路面の傾き等により不用意に自転車が動き転倒する恐れがあります。
- ※³ 想定外の負荷により、フットレストやグリップが破損する場合があります。
- ※⁴ お子様をリヤチャイルドシートに乗せる際は、フットガード（足のせ部）に強い力を加えないでください。
- ※⁵ バランスを崩した際にグリップから手が離れると、とっさに指をレバーのすき間などに挟む恐れがありますので、グリップをしっかり握ってください。

■走行時の注意

⚠ 警告

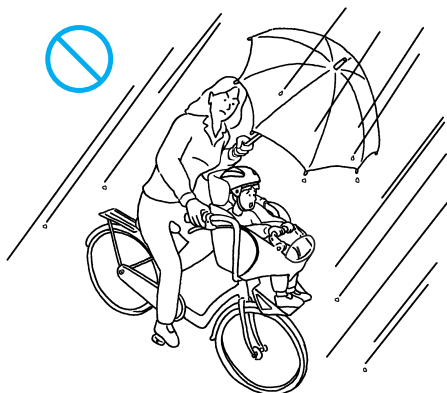
- 走行中にテモトデロックは絶対に操作しないでください。



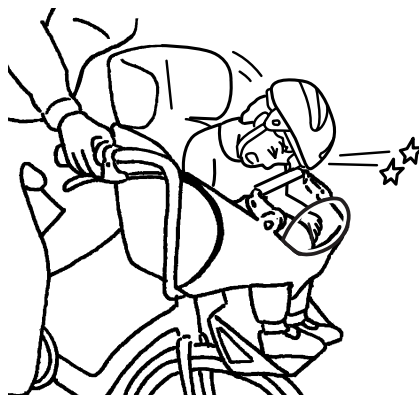
- 走行中にお子様がチャイルドシートの中で立ち上がったったり暴れたりしない様、注意してください。



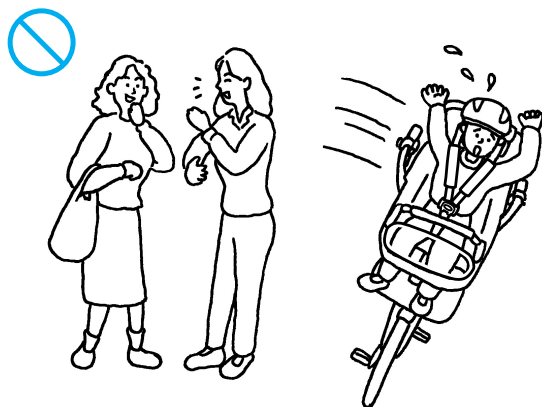
- 片手運転等、危険な行為は絶対にしないでください。



- お子様が眠らないように注意してください。



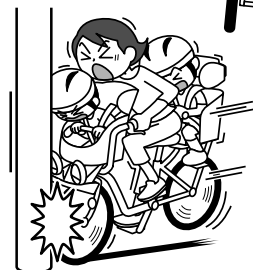
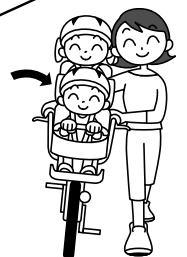
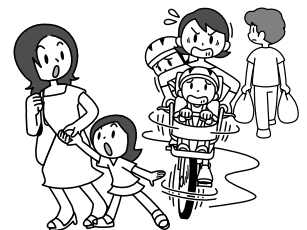
- お子様を乗せたまま自転車から短時間であっても手を離さないでください。転倒による事故の危険性があります。



■幼児2人同乗時の注意

⚠ 警告 (危険です、必ずお守りください！)

- お子様を2人同乗させて自転車に乗るときはスニーカーなど、かかとの低い靴をはいてください。また、スリッパや足から脱げやすい靴ははかないでください。
ペダルから足を踏み外すと、転倒する危険があります。
- フロントチャイルドシートによって、前方（特に下側）が見えにくくなります。このため、安全な場所で視界の確認をしてから使用してください。また、見える範囲の前方の障害物によく注意してください。
- お子様を2人同乗させた時は、自転車は同乗させない時に比べ運転しづらくなり、転倒する危険が増します。
 - ・ お子様の乗せ降ろしや自転車の押し歩き・走行を安全な場所で練習してから使用してください。
 - ・ 発進時や低速走行時には、ハンドルが振れることがあるので、特に注意してください。
- 道路に傾斜や段差や溝があるときはハンドルをとられやすいので、押して歩くか、ゆっくり注意して通過してください。
- お子様を2人同乗させた時は、自転車全体の重さが増えるので、ハンドル操作に大きな力が必要になり、押し歩き時にもバランスを崩し、自転車の立て直しができずに転倒しやすくなります。このため、下記に注意してください。
 - ・ ハンドルを急に切らないでください。
ハンドルを大きく切った際に、前輪が前または後に意図しない回転をして転倒することがあります。傾斜面や路面の凹凸があるところでは、特に起こりやすくなります。
 - ・ 歩行者などとすれ違う際によけるときは、ハンドル操作などに注意してください。
狭いところを押し歩いたり、歩行者や自転車と接触したり、同乗させているお子様の動き、路面の凹凸傾斜などによりバランスをくずしやすくなります。
- バランスをくずしにくい押し歩きの方法
押し歩き時には同乗のお子様の動きや路面の凹凸・傾斜などによるわずかなバランスのくずれによって、自転車の立て直しができずに転倒することがあるので、お子様を自転車から降ろして押し歩きをしてください。
やむをえず、お子様を同乗させて押し歩きを行う場合には、転倒の危険がありますので、以下の事項を考慮して慎重に押し歩きを行ってください。
 - ・ 自転車は垂直より少し手前に傾けて、ハンドルを握り、ブレーキがすぐにかけられるようにしてください。
 - ・ 同乗のお子様が動かないように注意するとともに、路面の凹凸・傾斜などに注意して、バランスをくずさないようにしてください。
 - ・ 押し歩きのための十分な空間がある場所であることを確認し、混雑した場所ではバランスをくずしやすいので、お子様を同乗しての押し歩きはやめてください。
- お子様を2人同乗させた時に衝突などの事故を起こした場合、自転車全体の重さが増えているので、同乗させないときに比べて衝突時の衝撃が大きくなります。このため、衝突などの事故を起こした場合は、同乗のお子様、運転者本人の被害が大きくなります。
また、歩行者や物に衝突などの事故を起こした場合も、同じく歩行者や物の被害（けが）が大きくなります。



※以上のことは、お子様を1人のみ乗せた場合も同じですので、注意してください。

■お子様をチャイルドシートから降ろすときは

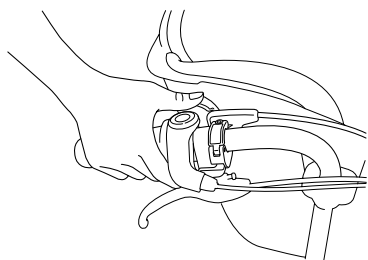
安全対策をした幼児2人同乗基準適合車でも、お子様の安全な乗せ方、降ろし方を行わないと思わぬケガをする恐れがあります。

お子様2人を同乗させた場合は、次の手順で行ってください。【ブリヂストンサイクル推奨例】

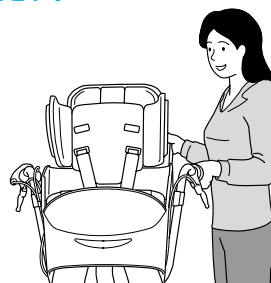
お子様1人を標準装備のフロントチャイルドシートから降ろす場合は、下記⑥を省略してお読みください。

⚠ 警告

- ①お子様を降ろす前に、「デモトデロック」を操作し、ハンドルが回転しないように必ず^{*1}^{*2}ロック（半固定）してください。

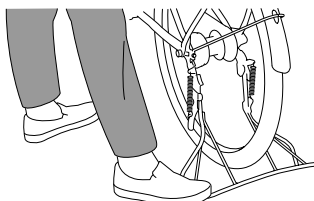


- ④保護者は自転車が倒れそうになった場合でも、すぐに手で支えられる位置に立っているようにしてください。

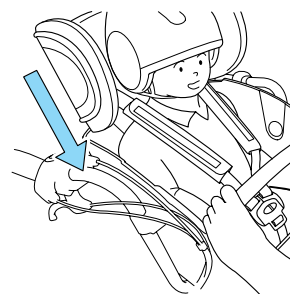


- ②保護者が自転車から降ります。

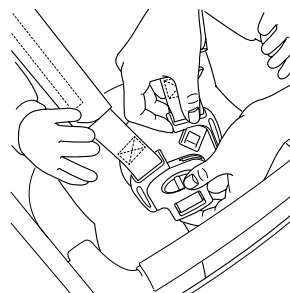
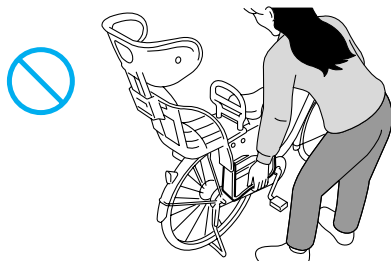
- ③自転車が転倒しないように、^{*3}安定性のよい平らな場所を選び、スタンドがしっかり立っていること、スタンドのロックがかかっていることを確認してください。



- ⑤フロントチャイルドシートのヘッドガードを下げ、シートベルトを外して、年少のお子様から先に、しっかり抱いて降ろします。

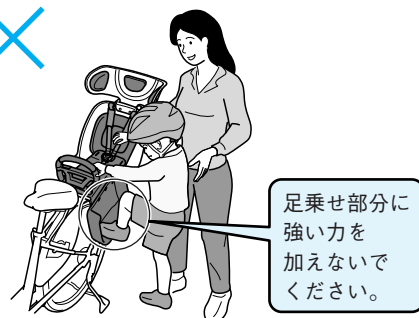
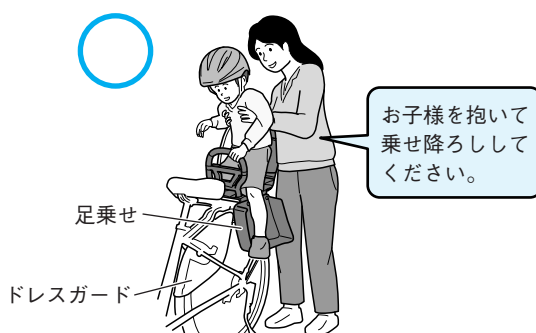
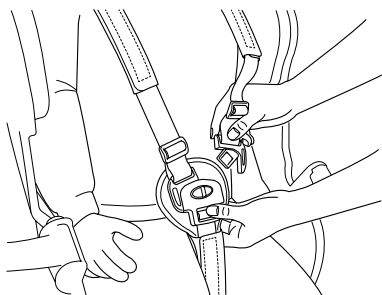
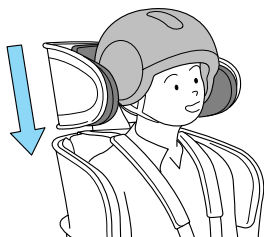


- ^{*4} 自転車を持ち上げる必要があるときは、リヤチャイルドシート（後幼児座席）のフットレストやグリップをもって持ち上げないでください。



警告

⑥次にリヤチャイルドシートのヘッドガードを下げ、シートベルトを外して、※⁵年長のお子様を
しっかり抱いて降ろします。

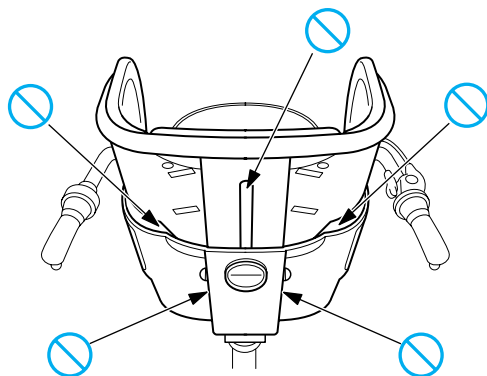


⑦お子様のヘルメットは最後に外します。

- ※1 「テモトデロック」はハンドルの回転を完全に固定するものではありません。
- ※2 バランスを崩した際にグリップから手が離れると、とっさに指をレバーのすき間などに挟む恐れがありますので、グリップをしっかり握ってください。
- ※3 傾いた場所で「テモトデロック」を解除した場合、路面の傾き等により不用意に自転車が動き転倒する恐れがあります。
- ※4 想定外の負荷により、フットレストやグリップが破損する場合があります。
- ※5 お子様をリヤチャイルドシートから降ろす際は、フットガード（足のせ部）に強い力を加えないでください。

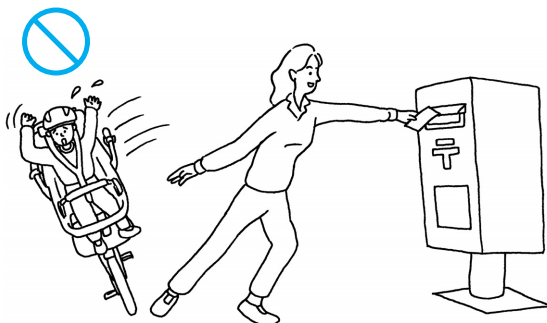
警告

- ヘッドガードを上げ下げするときは下図の隙間に指をはさまないようにしてください。(片方の手はハンドルグリップを握っててください) 指をはさんでケガを負う危険があります。



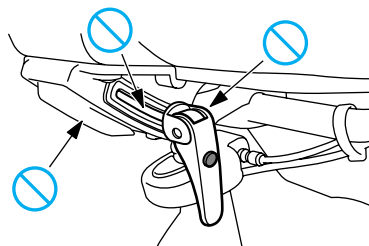
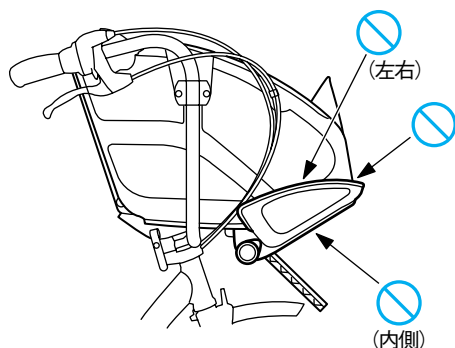
⊘→ は指をはさむ危険のある隙間を指す。

- お子様を乗せたあと自転車から絶対に離れないでください。転倒による事故の危険性があります。



- フットレストをとじるとき、⊘→で指した隙間に手や足をはさまないようにご注意ください。
- お子様を乗せているときは、お子様の手や足を隙間に挟まないようにご注意ください。

- リクライニングするとき、⊘→で指した隙間に指をはさまないようにご注意ください。



■お子様をチャイルドシートに乗せていないときは

- 普通のバスケット(荷物入れ)として使用できます。最大積載重量は15kgまでです。
- バスケット(荷物入れ)として使用する場合は、フットレストを閉じた状態で使用してください。

■保管のしかた

チャイルドシートは直射日光をさけて、駐輪・保管し、雨ざらしにしないでください。

WEB限定「AngelinoプレミアムWEB会員登録」のススメ

このたびは、ブリヂストンサイクルのチャイルドケアバイク「アンジェリーノ」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

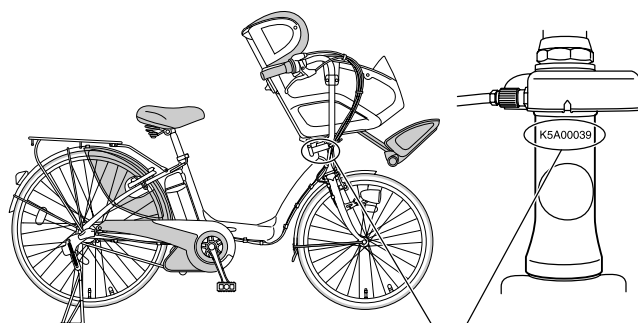
ブリヂストンサイクルではアンジェリーノをご購入いただいた方がWEB限定で登録可能な「Angelino プレミアムWEB会員登録」を実施しております。WEB会員登録をしていただいたお客様には、今後の大切なご連絡などを速やかにご連絡できるほか、特典として①盗難補償カードを郵送する代わりにWEBで登録できる ②Angelino プレミアムWEB会員限定のメールマガジン、そのほか特典をご提供させていただきます。ぜひとも簡単に特典盛りだくさんの「Angelino プレミアムWEB会員登録」をしていただきますよう、宜しく願い申し上げます。

また、ブリヂストンサイクルでは、ご購入いただいた皆様からの「声」をもとに、より良い製品の開発、および充実したサービスや情報の提供を行っていきたくて考えております。ぜひとも「AngelinoプレミアムWEB会員登録」にあるアンケートにご記入いただき、貴重なご意見をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。

「Angelino プレミアム WEB 会員」の登録方法

<http://www.angelino.jp/touroku/> までアクセスいただきますと会員登録画面が表示されますので、必要事項を登録してください。登録完了後、登録完了のメールを返信させていただきます。

また登録にはお客様の情報以外に「購入店情報」「商品コード」「フレームNo.」「キーナンバー」等の情報が必要となります。これらの情報は付属のロビンフット手帳に記載されており、車体ナンバーはフレームにも刻印されておりますので、ご確認ください。

[illegible]

車体ナンバー

お客様へのご注意

- 盗難が起きてから登録されても無効となります。
- 防犯登録と「Angelino プレミアムWEB会員登録」は関係ありません。
「Angelino プレミアムWEB会員登録」にアクセスしても、防犯登録はできません。
☆防犯登録はお買い求めの販売店に依頼して実施してください。

盗難補償と防犯登録について

- 盗難補償を受けるには盗難が起きる前に次の手続きが必要になります。
 - ①盗難補償カード(ロビンフッド手帳の中のハガキ)を郵送する。または②WEB会員登録(インターネット)にアクセスして登録する。

☆お買い上げ日欄に未記入であったり、不実の内容を記入された場合には盗難補償は受けられません。
- 盗難補償の詳細は別添「ロビンフッド手帳」を参照してください。
- 盗難が起きてから、盗難補償カードを郵送されたり、WEB会員登録されても無効になります(盗難補償は受けられません)。
- 法律により防犯登録は義務づけられています。かならず実施してください。
 - ・防犯登録は販売店に依頼して実施してください(有料になります)。
 - ・WEB会員登録(インターネット)では防犯登録できません。

Memo

Memo

修理や部品のご注文は、まずは**お買い上げの販売店**へご相談ください。

ブリヂストンサイクル株式会社

〒362-8520 埼玉県上尾市中妻 3 丁目 1 ー 1

お客様相談室

受付時間：9:00～12:00／13:00～17:00

（土・日・祝日及び弊社指定休日は休み）

電 話：☎ 0120-72-1911、FAX：048-772-5316
（国際電話・インターネット電話でのご利用はできません。）

IA00-908
2, A